

国立米子工業高等専門学校

事業名	留学生が地域住民等と共に考える環日本海海洋環境問題						
実施期間	2015年12月19日～2015年12月20日						
場所	兵庫県美方郡新温泉町						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	48	26	5	5	10	3	97名

<実施内容>

- ①12月19日(土)
湯村温泉の各種発電見学と温泉体験
- ②12月19日(土)
昼食交流会&歓迎交流会
- ③12月20日(日)
浜坂県民サンビーチ海岸清掃
- ④12月20日(日)
セミナーと意見交換会



湯村温泉で足湯を体験する留学生



海岸漂着ゴミ回収作業の様子



環境問題や国際交流をテーマとしたセミナー

<参加者からのコメント>

イツファさん(マレーシア:米子高専留学生)/Nik Iffah Hazirah

私は、始めは行くか行かないか迷いましたが、先生方の説明を聞いて、「あ、おもしろそうだな」と思い、先輩からも誘われたので行くことにしました。
現地に到着して初めて韓国からの学生たちを見て、仲良くなれるか心配でしたが、韓国の学生たちから声をかけてくれたので、私も積極的に話すことができました。食事中も韓国人学生と英語・日本語を交えて楽しく話ができ、おいしくごはんを食べることができました。また、海岸での清掃体験で海は繋がっているんだと再認識したことや色々な講演を聞くことで環境にも理解が深まりました。
この交流を通じて学んだことは、漂着ゴミを通して環境の問題は全世界の問題だと実感したこと。それと、たとえ国籍や習慣が違って、言葉じゃなくても言いたいことが伝われば交流ができるということです。大事なことは積極的に話しかけることだと思いました。フェイスブックなどの連絡先を交換し、新年のあいさつのメールをもらってとても感動しました。初めての韓国人の友達ができてうれしいです。参加して本当によかったと思っています。これからもこのような交流会に参加したいと思います。

パクジミンさん(韓国:神戸大学留学生)/Park Jimin

この12月、兵庫県の北西部にある新温泉町で、意味深い交流会に参加しました。
交流会には韓国の大学生はもちろん、近くの米子高専からの参加学生もいました。米子高専から来た学生には私と同じ留学生も居て、マレーシアやベトナム、インドネシアなどから来ていました。年齢の差と関係なく、母国から離れ一人で学業と生活をこなしているのにも関わらず、笑顔で気遣いの良い彼女らと話をすることで、共感もし、見習うところも多かったです。
また、海岸でゴミ拾いをして思ったことは、神戸と違って日本海側の気候は寒くて同じ日本でも違うんだなと感じました。
私は1泊2日の短い参加でもっと深い、多様な話を交わすことができなかつたのは残念でしたが、今の私の留学生活などを振り返ることのできる有意義な行事であったと思います、また私のことも彼女らに良い影響を与えていたらいいなと感じました。